

学力向上に効果のある取組事例

佐伯市立上堅田小学校

⑨その他(授業規律徹底と学習環境整備、補充学習の充実)

取組の具体①

【授業規律徹底 と 学習環境整備】

- 『**上小5:学習のきまり**』を全校一斉に毎週金曜日朝、放送を聞きながら自己チェック(5分間)する。
 - ・「上小5」と名付けた5つの授業規律について、全校で取り組む。児童は毎週1枚ずつのチェックシートで自己評価する。
 - ・その週の自分自身をふり返って、5つの授業規律ができているかどうか自己評価させ、その後、担任からの評価も行い記入する。
 - ・生活指導主任による全校放送をすることで、全校一斉に指導し、意識の継続と取組の徹底を図る。
 - 「**クリーンアップタイム**」(10分間)を、毎週金曜日朝「上小5チェック」の後に設け、全校一斉に自分の机の中、ロッカーの中や、教室内の環境を整頓させる。
 - ・早く片付けが終わった児童は、片付けが苦手な友達を手伝ったり、教室内外の環境で気づいたところを整頓したりさせる。
 - ・毎月1回の教員による安全点検での校舎内巡回で、各教室の児童机やロッカーで特に整頓できている児童の名前を、黒板に書き、翌日の朝、児童がそれを見て励みにしている。
- ★★取組のコツ★★
- ・これらは全校一斉に時間を設定し、全校放送を活用して一斉に行うことで、取組の足並みをそろえ、徹底することができている。

かみしよう がくしゅう
上小5 学習のきまり

- 1 あいさつ「気をつけ、はい、礼。」
(1. 2. 3. 4)はい
- 2 準備「学習用具をそろえる」
- 3 チャイム着席「なりおわるまで」
- 4 話し方「発表の時はです。ます。」
- 5 聞き方「最後まで静かに聞く」

上小5で
学習する気持ちを
ととのえよう

令和3年度
上堅田小学校

取組の具体②

【東書データベース・学力調査問題の活用】

- 『**ふりかえりプリント**』として、東書データベース「たしかめ問題」等や各種学力調査の問題(国語・算数・理科)を、全学年の児童個人用に印刷し冊子にして活用する。
 - ・管理職及び学力担当が、児童の実態(学力調査結果や学期末テスト結果など)を考慮して、東書データベース問題をピックアップし、一人1冊子に印刷する。解答も2人に1冊程度印刷する。
- ★★活用の方法★★
- 授業中の活用
 - ・授業の最後の練習問題として、ページを指定して取り組ませる。
 - ・授業のちょっとした「すきま」時間を、「すきま」にしないよう、この冊子に取り組ませる。
 - ・特に算数の習熟の時間に、学力調査の問題を取り上げ指導に生かす。
 - 補充学習時間や家庭学習での活用
 - ・朝の学びタイムや、毎週金曜日6校時の算数プラスタイム(算数の習熟度別補充学習時間)、家庭学習課題として活用する。
- ★★取組のコツ★★
- ・やり直しを徹底させる。児童同士の教え合いをさせる。また、間違えやすい問題は、その間違いをクラスで共有する指導を行う。

表紙は管理職作成。印刷製本はスクールサポーターや学校主事の協力で、全学年に作成した。